

九州民放クラブ活動だより

「平均年齢81才！元氣です」

渡邊 由美子（RKB）

このコロナ禍の中で、九州民放クラブ福岡の水彩画同好会の活動が戻って来ました。昨年は会場も無く、グループ展が開催出来ませんでした。

今年に入り、感染が少し収まりつつあった年明け早々から、グループ展開催の機運が強まり、先ずは場所をと会場探しが始まりました。苦戦しましたが、幸いにも福岡市南区高宮の福岡市男女共同参画センター「アミカス」を借用する事になりました。

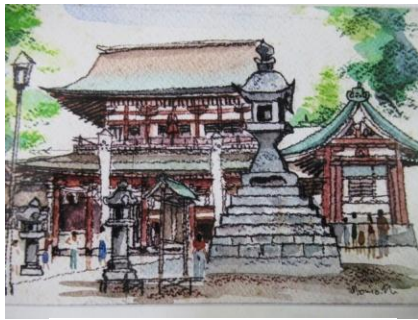
そして4月14日から20日までグループ展を開催し多くの人々に観賞して貰いました。密になるので会話も控え静かに過ごし、打ち上げ等も一斉行いませんでした。準備過程も含め楽しいものがあり、目的に向かって活気のある行動は元気の素ではないでしょうか。

この水彩画同好会は1994年（平成6年）2月に、当時定年を迎えた女性5名で立ち上げ、それに在福民放各社の男女15名が参画しました。講師はRKBのド

ラマ制作等に携わり、水彩画を得意とする美術の長岡盛雄氏を迎えており、27年間続いています。

現在会員は、67才〜88才迄の10名です。何しろ平均年齢が81才という高齢者の集まりですが、月に2回の教室で花等の静物画を描き、気候が良い時には外でスケッチというスタンスです。

グループ展が終わった後、福岡県にも緊急事態宣言が発令され、又しても休部を余儀なくされていますが、一枚の紙と鉛筆があれば、何時でも何処でも楽しめます。如何ですか。



太宰府天満宮
長岡盛雄（RKB・講師）

大分民放クラブ・ゴルフ同好会

「100回記念大会」開催へ

矢野建三（OBS）

新型コロナウイルス感染症は、感染力の強い変異株が主流を占め

て、依然、拡大傾向にあります。大分民放クラブは、昨年と今年の「定期総会・懇親会」を中止にした上で、議案は、会員（110人余り）に郵送して承認を得ました。

また、大分民放クラブの「囲碁」「女性の会ラ・ロンド」「旅行」「うまいかい」「ボウリング」「写真」の各同好会も、活動を自粛し、昨年から休止状態になっています。そんな状況ですが、ゴルフ同好会は、先月99回大会を終え、この秋に100回記念大会を開催することになりました。

ゴルフ同好会が、休むこと無く会を開催できたのは、ゴルフが「密」を避けやすい屋外スポーツであることやコロナ感染予防に取り組んだ会員個人の努力もありますが、何よりもゴルフを楽しみたいと思う会員の気持ちが強かったのだでしょう。資料によると、大分民放クラブ「第1回ゴルフ会」は、1994年（平成6年）12月に開催されました。今から27年前のこと

で、参加者は、15人でした。また、参加者が24人と過去最も多かったのは、2005年（平成17年）5月の第42回ゴルフ会でした。

最近のゴルフ会は、10人前後で行われることが多く、参加者が減少傾向にあるそうです。

今年秋に予定している「第100回記念ゴルフ会」を担当する飯田理事は、「豪華な賞品を用意して、多くの人に参加を呼びかけたい。記念大会が盛大に開催できるように努力したい」と話しています。

大分民放クラブは、発足から28年目を迎え、会員の高齢化と新規加入者の減少という課題に直面しています。

新型コロナウイルス感染症は、収束の気配がありません。

高齢者のひとりとして、ワクチンに期待しながら、密集を避け、マスクの着用や手洗い、消毒をこまめに実行して自分の健康を守る以外にないようです。



大分民放クラブ・第71回ゴルフ会

平成25年5月31日